

# SPOT BENCH PROJECT

【農学部】 梁誠晋(3年) 斎藤健人(3年) 小川晃弥(3年) 谷目葉(2年) ムンソンジェ(総合科学研究科 地域創生専攻)

## BACKGROUND

豊かな自然資源を活用し、海外及び他地域からのインバウンド観光客の流入を増加させるのは岩手県の戦略として疑問の余地がない。しかし情報通信産業及び第3次産業がまだ確立されていない地域の限界のため、既存及び新規の観光スポットのに対する情報伝播経路の不備が課題となっている。平成30年現在、岩手県への外国人観光客の入り込みは増加傾向にはあるが、台湾・中国・韓国などのアジアからの観光客が8割以上を占めており、アメリカやヨーロッパからの入り込みは一部に過ぎない。言語の壁だけでなく、イメージと情報プラットフォームに基づき情報を消費する最近の傾向に比べてみると、東京オリンピックをきっかけとし日本へ訪ねてくるはずの、外国人観光客への対応体系が特に弱いのが岩手県の重点課題であるとも言える。言語の限界を乗り越えられるタイプの情報伝播体系としてこのプロジェクトは企画された。

## 解決課題

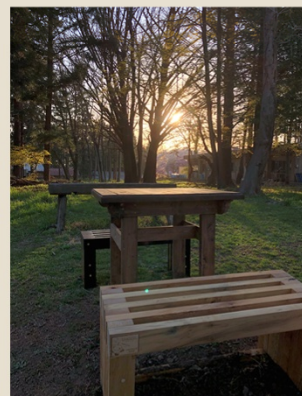
- I. 多様な樹種の県産木材の有効活用のため、デザインと設計と共に伐倒・製材・乾燥・加工・塗装・設置の全工程に対するノウハウと経験を積む。
- II. 専門企業・団体・組合・専門家からの支援・協力が期待できるネットワーキングが要求される。
- III. スマホ・Google Map、QRコードなど情報通信関係のプラットフォームに慣れていない県内意思決定主体向けの説得力を強化するため、実行主体(Morito)の認知度・ブランド力を育成する。
- IV. 校外への共用施設物を設置し維持補修可能なノウハウと資格を保有するため、プロジェクトを支援する自治体及び地域との連携を開拓する。
- V. 製品自体のデザイン力、機能性、魅力を向上するために人的資源の拡大と物的資源の拡充に進む。

## KEYWORD CLOUD

ネットワーク 技術力  
実績 リソース

## 企画概要

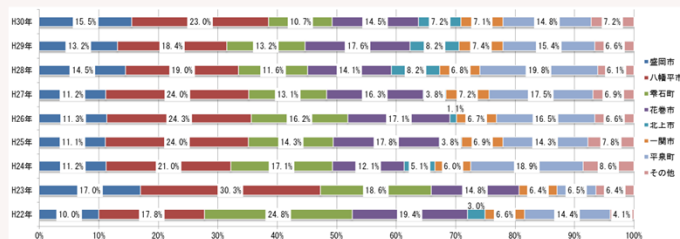
世界でユーザー数10億名以上のGoogle Mapアプリ上でのGPS値に基づき、特定のスポットまでの移動経路と共にその場所の写真イメージとGPS誤差の補正するためのベンチを提供するモデル。スマホ搭載GPSセンサーが室外・野外で発生させる誤差の補正のため、県産材で製作した目立つデザインのベンチをスポットごとに設置する。位置情報の配布はQRコードで行い、2014年以降モデルのスマホ利用者をターゲットユーザーとする。(年齢・国籍無関係) 場合により各スポットの位置情報と写真イメージ、QRコードを搭載した統合ウェブサイトの製作・運営も並行する。



## 【外国人観光客の発地別入込割合】



## 【外国人観光客の市町村別入込割合】



いわての観光統計  
教育旅行者・外国人観光客の入込動向  
(平成30年1月～12月) から引用  
岩手県 商工労働観光部 観光課 (平成31年3月)

# SPOT BENCH PROJECT

【農学部】 梁誠晋(3年) 斎藤健人(3年) 小川晃弥(3年) 谷目葉(2年) ムンソンジェ(総合科学研究科 地域創生専攻)

## 活動成果



### 大船渡ビジネスモデルコンテストのドリーム部門(大学部)で最優秀賞受賞 I II III IV

Googleマップを活用するビジネスモデルに対する一般の認識と実績を積もるのを目標とし、実際の起業を前提としたビジネスモデルと財務プランをよりまとめ、発表した。普段地域資源にごだわったモデルがより高く評価される傾向を乗り越え、岩手県だけでなく全国各地で汎用的活用が可能なモデルとして受賞したのが成果とされる。特に実用化する場合に是非先に検討をお願いしたいと大船渡市から評価されたのも大事なポイントだと言える。



### 地域課題解決プログラムに参加：肴町商店街活性化プロジェクト I II III IV

岩手大学地域連携推進機構と盛岡市が行う地域課題解決プログラムの中、旧市街地の肴町商店街の地域活性化プロジェクトに参加し、Moritoを含め4個社が協力してプロジェクトを実行した。製品の企画・製作、販売形態の工夫は勿論、ハロウィンフェスタから始め商店街内の店舗での常時販売を進めた。この件は岩手テレビのニュースエコに取材され、地域放送で広報される成果も出した。(2019年10月21日) スポットベンチのモデルについての共感を受け、来年度の商店街イベントでの導入を相談中である。



### 加工技術の研磨：木工旋盤、ボール盤、スライド丸鋸の導入 I V

既存のベンチデザインは限られた道具と技術を想定したモデルであり、常用化を目指すためにはアップグレードは要求される。今年度は木工旋盤(円形・円錐形)、ボール盤(鉛直打空)、スライド丸鋸(垂直・繰り返し切断)の導入による製品デザインの多変化を図り、その他エポキシレジン加工技術をテストする予定である。



### 製品カテゴリーの拡大：県産材を用いた知育玩具の開発 I II III V

県産の広葉樹を用いたコンセプト製品として、広葉樹の葉っぱをデフォルメした板材を加工し樹木の形態をとった児童用知育玩具を企画した。岩手大学の保育園、6~8mmの薄型加工が可能な地元の専門製材企業との協力により、「Forest Sounds(森の音)」企画案が第15回キャンパスベンチャーグランプリ東北(CVG東北)で、第3位の特別賞(日刊工業新聞社賞)を受賞。

## 今後の活動

新型コロナウイルス19の拡散による世界的産業構造及び文化への影響が予測より多く、観光産業基盤のビジネスモデルが持つ影響力が萎縮されがちである。特定の場所への移動経路を提供するという基本モデルを維持しながら、文化財や構造物、モニュメント等の位置情報を記念品と共に提供する形態のビジネスモデルへの転換を念頭に置いて企画作業を進行中である。

